



# ブラジル日本商工会議所 2022年第3回フォーラム

2021年の振り返り並びに今後の展望

2022年3月7日  
貿易部会

# 目次

□21年振り返りと22年展望に関する貿易部会アンケート	P- 3
□2021年を振り返り良かったこと	P- 4
□2021年を振り返り悪かったこと	P- 5
□統計による考察：	
・ ブラジル貿易収支推移	P- 6
・ 2021年輸出入金額上位15品目 19-21年推移	P- 7~8
・ 主要輸出商品の相手国、輸出金額 19-21年推移	P- 9~10
・ 対ブラジル直接投資動向	P- 11
□2022年を展望して注目或いは注意すべき事項	P- 12
□2022年のキーワード	P- 13

## 2022年日本商工会議所第三回フォーラム 貿易部会アンケート

1. 2021年を振り返り貴社及び貴社事業を取り巻く業界において特筆すべき事項（良かったこと3点、悪かったこと3点）。
2. 2022年を展望して注目或いは注意すべき事項(最大5点)。
3. 2022年のキーワード。

## 2021年を振り返り良かったこと

- ワクチン接種が普及、21年後半に向けては新型コロナ感染も収束傾向となり、コロナ禍は継続するもののオフィス再開・出勤率向上を図れた。日常回帰に向かう。コロナ禍においても社員の安全を守ることが出来た。
- 働き方改革の推進。Web会議の浸透により、顧客、取引先及び本社との対話の選択肢が増えた。業務のデジタル化(DX)、効率化を推進。コスト効率も向上。
- 一次産品の輸出やコロナ禍反動による内需の戻り等を中心としたブラジルの経済回復。コロナ禍でも活況な民需を取り込んだ。スタートアップ市場の活況。
- 医療・製薬関連機器、同資材(マスク等)の「コロナ特需」を取り込み取引維持、拡大。医療用品の輸入通関所要時間の短縮。
- 自動車業界における現地製造・調達の促進。現地製造業の自動化・IoT化普及による生産性の向上。
- 世界的な社会情勢(政情不安・労働力不足による生産停滞・天候不良)やコロナ禍回復過程での海上輸送等物流のタイト化に加え、商品相場変動や消費動向の変化により需要動向が変容。供給地としての南米プレゼンスが向上した。改めて南米産商品のポテンシャルが高まった。
- インフレ基調によりコスト増大分を売価に転嫁することが比較的容易な環境にあった。
- コロナ禍でのEコマース需要の高まり。業績拡大したスーパーマーケットとの協業や卸販売を拡大した。

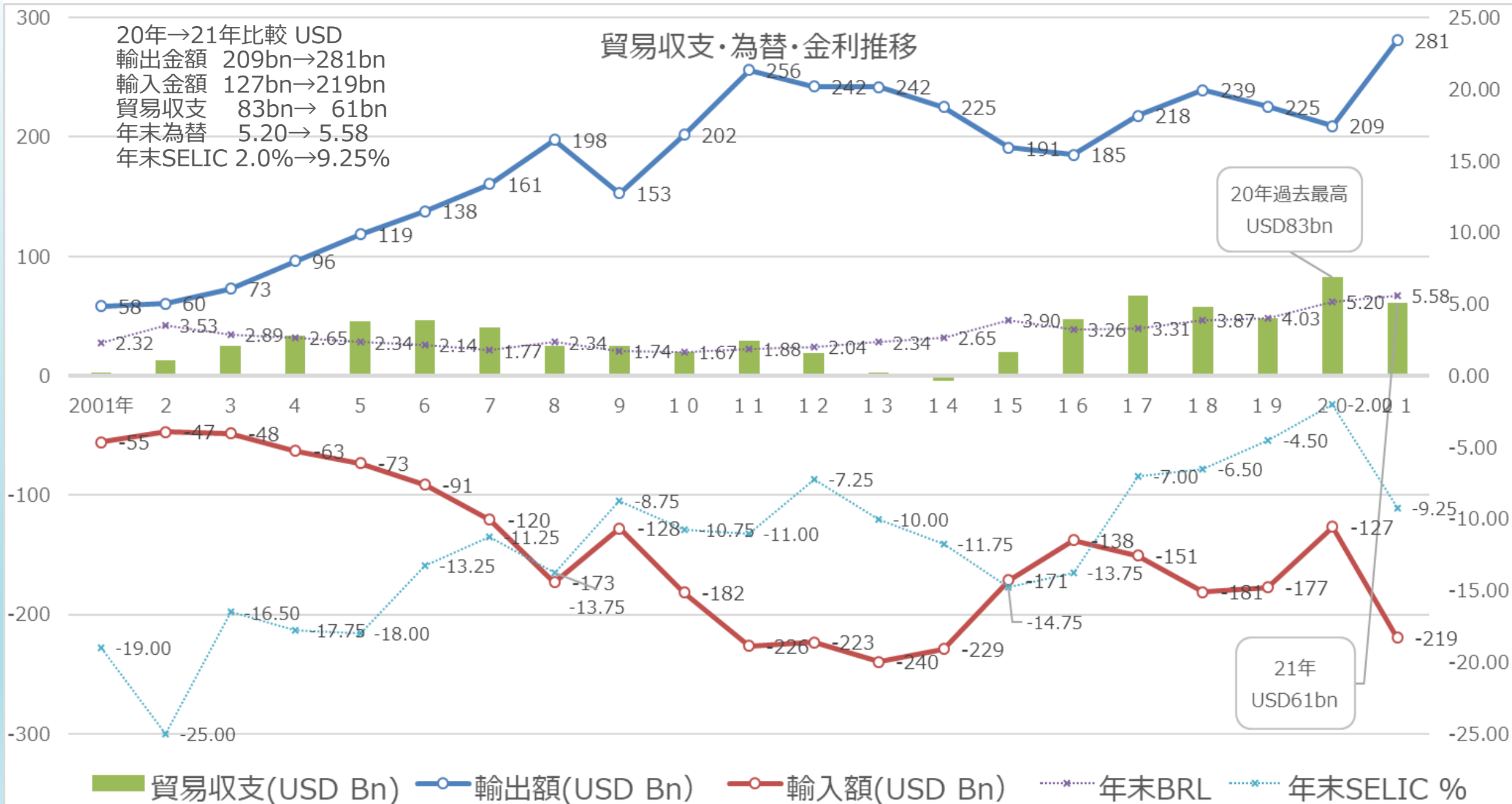
## 2021年を振り返り悪かったこと

- 21年年末からのオミクロン株感染急拡大により、再び勤務体制や営業活動に影響が出ている。コロナ禍で新規顧客の開拓が依然として困難であったこと。
- インフレ(物価上昇)による経費率上昇や関連した交渉の労力の増加。レアル安による一次産品輸出・販売好調により国内相場を押し上げる効果、と輸入製品の価格上昇をもたらす両面でのインフレ助長。人件費の上昇。
- 国際物流タイト化/コンテナ不足、海上輸送費用及び原材料費高騰による輸入調達コストの上昇。輸入リードタイムの長期化。
- 天候不順(霜害・乾燥⇔長雨)による食品原料価格を中心とした商品相場の高騰と供給の不安定化。
- 政策金利の上昇による資金調達への影響。
- 半導体不足による自動車サプライチェーン成長の鈍化。
- 医療機関の手術実施が最低レベルとなり資材売上に大きく影響、企業の倒産や業績悪化による医療保険加入者(労働者)の脱会も影響した。
- 治安悪化によるショッピングセンターやスーパーマーケットでの強盗多発による客数減。
- 中南米諸国の政府財政難による官需案件の減少。
- 在宅勤務が常態化し、会社としての結束力等の弱体化を危惧する。

# ブラジル貿易収支推移(2021年12月迄)

20年→21年比較 USD  
 輸出金額 209bn→281bn  
 輸入金額 127bn→219bn  
 貿易収支 83bn→ 61bn  
 年末為替 5.20→ 5.58  
 年末SELIC 2.0%→9.25%

## 貿易収支・為替・金利推移

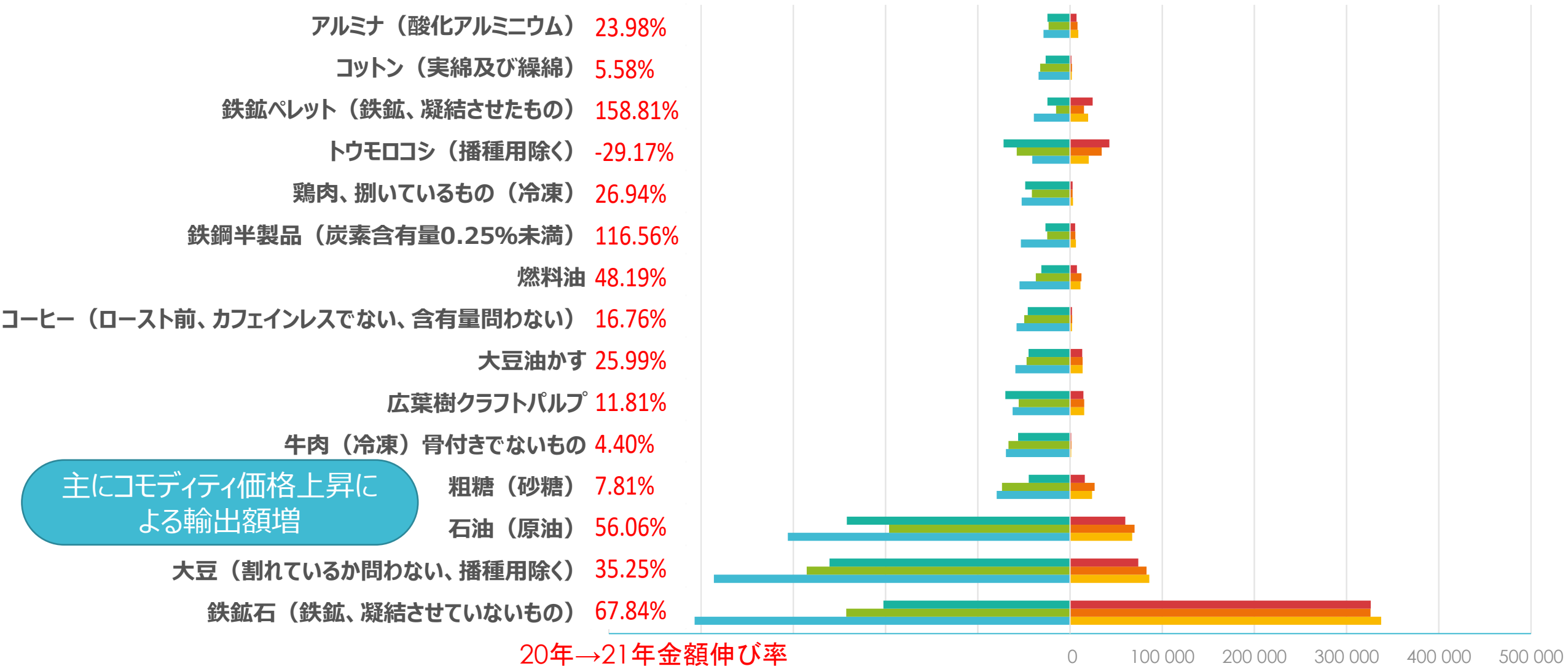


# 2021年輸出金額上位15品目（昇順） 19-21年推移

左：輸出額（USD百万）／右：輸出量（1000トン）

■ 2019年輸出額 ■ 2020年輸出額 ■ 2021年輸出額 ■ 2019年輸出量 ■ 2020年輸出量 ■ 2021年輸出量

50 000 40 000 30 000 20 000 10 000 0



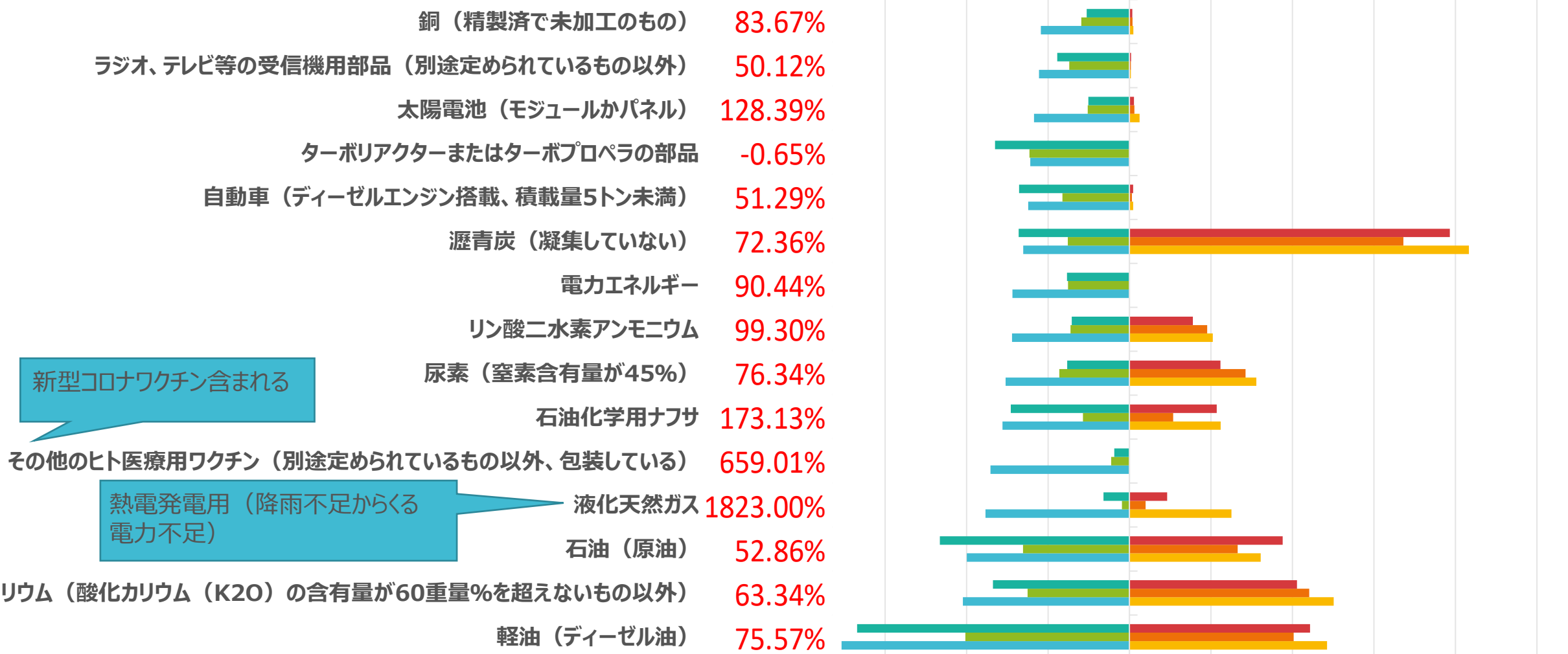
主にコモディティ価格上昇による輸出額増

# 2021年輸入金額上位15品目（昇順） 19-21年推移

左：輸入額（USD百万）／右：輸入量（1000トン）

■ 2019年輸入額 ■ 2020年輸入額 ■ 2021年輸入額 ■ 2019年輸入量 ■ 2020年輸入量 ■ 2021年輸入量

10 000 8 000 6 000 4 000 2 000 0



新型コロナウイルスワクチン含まれる

熱電発電用（降雨不足からくる電力不足）

20年→21年金額伸び率

0 5 000 10 000 15 000 20 000 25 000



# 主要輸出商品の相手国、輸出金額 (USD百万) 19-21年推移

## 鉄鉱石

国	2021年			2020年		2019年	
	順位	金額	前年比伸び率	順位	金額	順位	金額
中国	1	28,364	58%	1	17,976	1	13,054
マレーシア	2	2,780	64%	2	1,695	2	1,814
バーレーン	3	1,794	232%	6	540	6	600
日本	4	1,335	71%	3	781	3	834
オマーン	5	1,251	117%	4	576	5	626
オランダ	6	876	56%	5	561	4	742
韓国	7	700	65%	7	424	7	454
フィリピン	8	617	159%	9	239	10	170
トルコ	9	575	47%	8	392	8	327
フランス	10	510	167%	10	191	9	306

## 大豆

国	2021年			2020年		2019年	
	順位	金額	前年比伸び率	順位	金額	順位	金額
中国	1	27,208	30%	1	20,903	1	20,452
スペイン	2	1,665	74%	3	957	2	757
タイ	3	1,289	41%	4	911	4	602
オランダ	4	1,199	8%	2	1,109	3	605
トルコ	5	1,015	41%	5	721	6	444
パキスタン	6	694	67%	6	416	8	268
イラン	7	561	128%	10	245	5	545
ベトナム	8	554	131%	11	240	9	236
メキシコ	9	547	90%	9	289	10	233
台湾	10	533	59%	8	335	11	231

## 鉄鉱石国際価格 (USD/DMTU)

2021年		2020年	2019年
年平均	前年比伸び率	年平均	年平均
161.71	48.47%	108.92	93.85

## 大豆国際価格 (USD/トン)

2021年		2020年	2019年
年平均	前年比伸び率	年平均	年平均
583.32	43.45%	406.64	368.95

# 主要輸出商品の相手国、輸出金額 (USD百万) 19-21年推移

## 石油 (原油)

## 粗糖 (砂糖)

国	2021年			2020年		2019年	
	順位	金額	前年比伸び率	順位	金額	順位	金額
中国	1	14,252	26%	1	11,346	1	15,480
アメリカ	2	3,079	127%	2	1,359	2	3,219
インド	3	2,244	83%	3	1,224	4	982
チリ	4	1,964	208%	6	637	3	1,202
ポルトガル	5	1,633	79%	5	911	8	264
韓国	6	1,462	145%	7	597	16	59
オランダ	7	1,212	120%	9	551	7	404
スペイン	8	1,087	4%	4	1,044	5	813
シンガポール	9	1,010	72%	8	586	9	246
マレーシア	10	795	68%	10	474	10	227

国	2021年			2020年		2019年	
	順位	金額	前年比伸び率	順位	金額	順位	金額
中国	1	1,409	11%	1	1,271	5	390
アルジェリア	2	776	16%	2	669	1	634
ナイジェリア	3	598	37%	6	438	3	416
バングラデシュ	4	575	-8%	3	628	2	474
マレーシア	5	429	12%	8	383	16	82
カナダ	6	427	61%	12	265	12	144
サウジアラビア	7	427	15%	9	370	4	399
モロッコ	8	399	0%	7	401	8	208
インドネシア	9	354	-24%	5	466	92	0
エジプト	10	317	25%	13	254	10	181

## 原油価格 (USD/バレル)

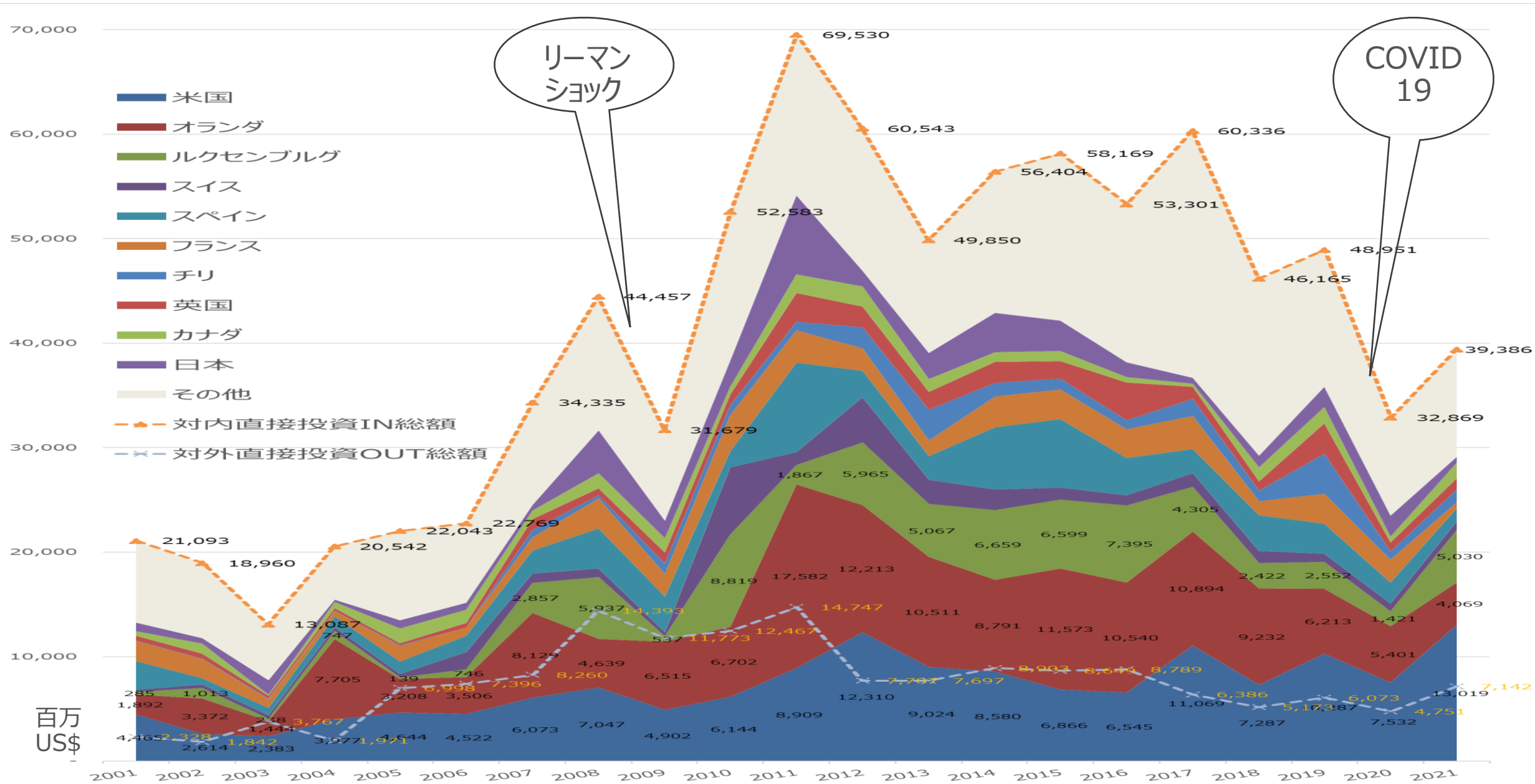
\* WTI、ドバイ、ブレントの平均

2021年		2020年	2019年
年平均	前年比伸び率	年平均	年平均
69.07	67.41%	41.26	61.41

## 砂糖価格 (USD/Kg)

2021年		2020年	2019年
年平均	前年比伸び率	年平均	年平均
0.39	37.59%	0.28	0.28

# 対ブラジル直接投資動向(2021年12月迄)



## 2022年を展望して注目或いは注意すべき事項

- ・ オミクロン株動向と新型コロナ収束へのシナリオ。内外経済に与える影響。
- ・ ブラジル国内の景気・政治動向。大統領選挙動向に敏感に左右される経済、リアル為替。選挙戦略によるばら撒き政策への懸念と財政不安。医療分野への公的資金の投入動向。政策金利と物価(インフレ懸念)の動向。  
新大統領による選挙後の政策。
- ・ 混乱する国際物流の動向と半導体等原材料不足の問題の趨勢。
- ・ 世界的地政学リスクと商品・エネルギー相場や経済への影響度。
- ・ 米中関係と南米・ブラジルへの影響。ブラジルとして貿易依存度が高い中国の経済動向。  
中国がラ米への影響力を強化すること。
- ・ 日本経済の動向、また日メルコスール E P A 協議等自由貿易協定の動向を注視(ものの流れに影響する)。
- ・ 脱炭素の流れと E S G を意識した事業経営。
- ・ 長引くコロナ禍による生活スタイルの変化から来る新しい需要。Eコマース、SNSを中心としたデジタルマーケティング強化。
- ・ 働き方。

## 2022年のキーワード

「エネルギートランジションの道筋」

「気候変動」

「ESGを意識した事業運営」

「娑婆に戻った`元`と野放し野犬の一騎打ち」

「ポジティブ思考で新しいことにチャレンジする」

「ソリューション事業へのトランスフォーム」

「未来を興せ」(変化の時代に)

「回復」(コロナ、物流、半導体...日常回帰への期待)

「既存ビジネスの足固めと客数減を前提とした抜本的施策の実施」

「ACOSTUME-SE」(想定外に柔軟に対応すべく常にあらゆる準備を)